

地域医療連携推進法人尾三会の運営状況について

資料6

○ 地域医療連携推進法人制度の概要

地域医療連携推進法人とは、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定（医療連携推進認定）する制度（2017(H29)年4月創設）

平成29年3月29日愛知県医療審議会医療体制部会における地域医療連携推進法人の認定及び代表理事の選定の認可に対する付帯決議文

地域医療連携推進法人が業務を行う医療連携推進区域は、地域医療構想区域と整合的になるよう定めることが原則であり、2以上の構想区域にわたる医療連携推進区域を定める場合にはその理由と必要性について十分精査することが必要であると規定されている。

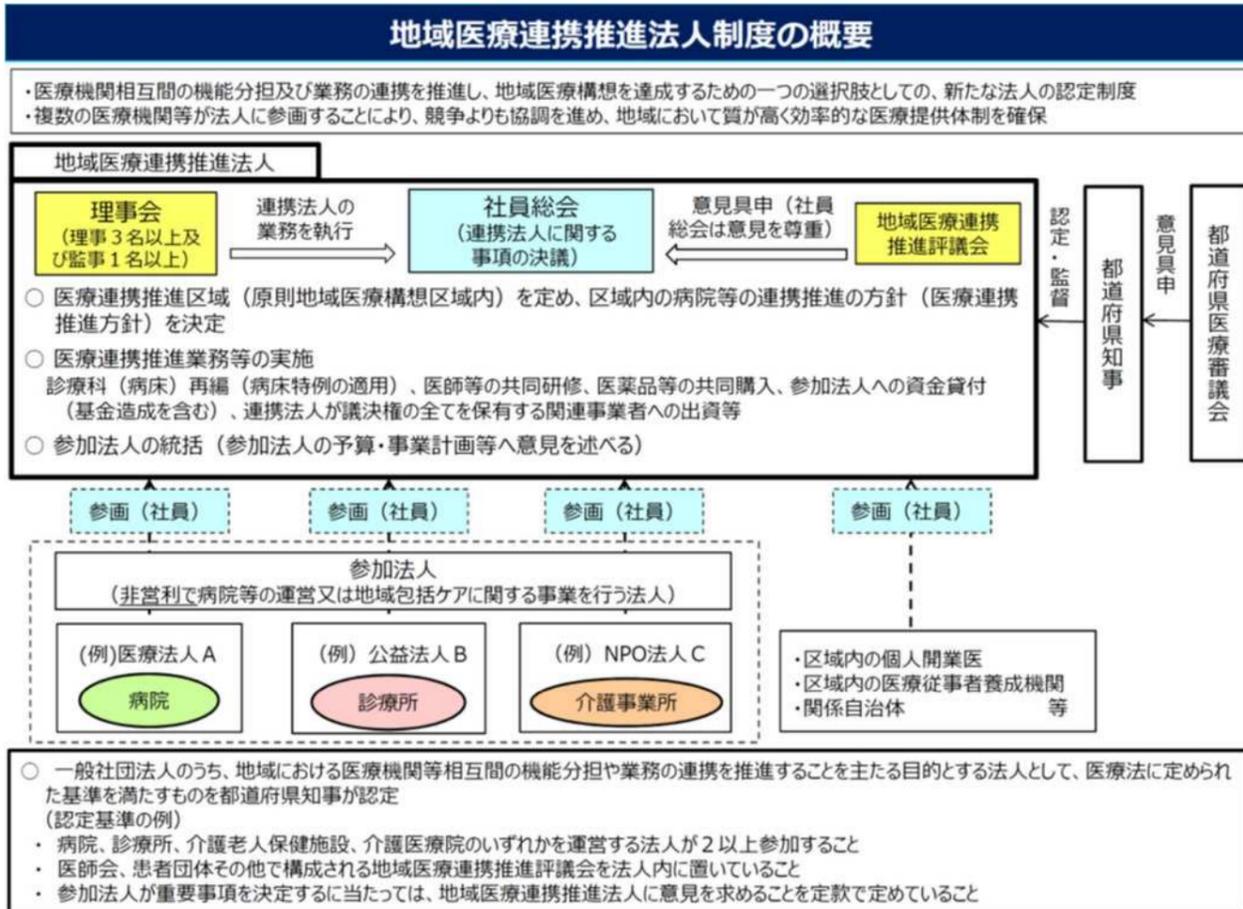
今回の認定審査対象法人は愛知県下の7つの構想区域に及ぶものであるが、平成29年3月29日の医療体制部会での質疑応答は、この点で各委員の疑念を払拭するに至っていない。

地域医療構想の本来趣旨に基づけば、多数の構想区域にまたがって業務を行おうとする今回の認可審査対象法人の存在は、各構想区域における自主的な取り組みを阻害し、参加法人とそれ以外の機関との無用な競争を助長することが強く懸念される。

愛知県の地域医療構想達成のため、不断の努力を続けている各地域の医療関係者の努力が毀損されることがないように、万全の配慮がなされるべきである。

今回申請された地域医療連携推進法人は、以下の二点を付帯決議事項として認可するものである。

- 1 本法人はその参加法人と業務範囲が多数の構想区域にまたがる地域医療連携推進法人であるため、その法人の事業運営にあたっては、それぞれの構想区域の医療関係者が、地域医療達成に向けて現在すでに行いつつあり、将来行うとしている取り組み内容を十分に理解し尊重すること。
- 2 法人運営がその理念通り適切に運営されている状況について、愛知県医療審議会医療体制部会に、毎年報告すること。



○ 認定状況

愛知県の認定状況 1件（全国 31法人 2022(R4). 4.1 現在）
 ・地域医療連携推進法人尾三会（2017(H29). 4.2 認定）
 （主たる事務所所在地：豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98（藤田医科大学病院内））
 医療連携推進方針（別紙）

※業務を行う医療連携推進区域が複数の地域医療構想区域（7区域）にわたることから、2017(H29)年3月の医療体制部会において2点の付帯決議事項を附して認可に至った経緯がある。

医療連携推進方針

1. 医療連携推進区域

愛知県名古屋市南区、名古屋市緑区、名古屋市天白区、岡崎市、半田市、豊川市、刈谷市、豊田市、西尾市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、愛知郡東郷町

2. 参加法人、参加病院等

- ・南医療生活協同組合 総合病院南生協病院
- ・医療法人清水会 相生山病院
- ・医療法人なるみ会 第一なるみ病院
- ・医療法人コジマ会 ジャパン藤脳クリニック
- ・医療法人 みどり訪問クリニック
- ・医療法人並木会 並木病院
- ・医療法人鉄友会 宇野病院
- ・医療法人十全会 三嶋内科病院
- ・医療法人木南舎 富田病院
- ・医療法人葵 葵セントラル病院
- ・医療法人宝美会 総合青山病院
- ・医療法人明和会 辻村外科病院
- ・医療法人社団同仁会 一里山・今井病院
- ・公益財団法人 豊田地域医療センター
- ・医療法人贈恩会 小嶋病院
- ・医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック
- ・医療法人 秋田病院
- ・学校法人藤田学園 藤田医科大学病院
- ・社会福祉法人あかいけ寿老会 特別養護老人ホーム寿老苑
- ・医療法人名翔会 老人保健施設和合の里
- ・社会福祉法人東郷福祉会 特別養護老人ホームイースト・ヴィレッジ
- ・社会福祉法人福田会 特別養護老人ホーム豊明苑
- ・医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院
- ・医療法人社団福祉会 高須病院
- ・医療法人秀麗会 山尾病院
- ・医療法人幸寿会 平岩病院
- ・社会福祉法人地域福祉コミュニティほほえみ 地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ
- ・医療法人寿光会 寿光会中央病院
- ・医療法人大医会 日進おりど病院
- ・医療法人大朋会 岡崎共立病院
- ・医療法人メディライフ 半田中央病院
- ・国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

3. 理念・運営方針

(理念)

尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。

(運営方針)

尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取り組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じ、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。

- ① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。
- ② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。
- ③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

・グループ内施設の機能の分化について

特定機能病院である藤田医科大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。

・グループ内施設間における医療・介護従事者等の人事交流を実施し、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて人事交流を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。

・医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、藤田医科大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田医科大学包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの研修会や研修業務の企画立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣をすることで、地域全体での医療・介護サービ

スの質の向上に貢献します。

さらに、地域の潜在看護師が自信を持っていきいきと働くための支援として、医療安全を基盤とした看護技術習得を目指した再教育及び就労支援を実施することにより、地域医療に貢献していきます。

- ・グループ内施設間での患者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、高度急性期医療を担う藤田医科大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的に、より効率的に情報システムを利用するための方法等について検討します。

- ・グループ内施設に対して医療事故調査等に関する業務の連携を実施し、安全な地域医療の実現に貢献します。

具体的には、医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田医科大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断(Ai)等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。

- ・医薬品の一括交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、平成 29 年 10 月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。

- ・医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営の効率化の実現に寄与します。

- ・グループ内施設における給食サービスの共同化を実施し、適切な配食と経営の効率化を図ります。

具体的には、藤田医科大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

- ・先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供します。

具体的には、既に豊明市において藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。

- ・「暮らし」を支える在宅診療のシステム化に貢献いたします。

具体的には、前述の藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた 24 時間 365 日オンコール体制によるバックアップ、24 時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。

- ・介護・医療従事者等の人事交流を通じて、在宅診療等の充実化に貢献いたします。

具体的には、各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への人事交流を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。

- ・グループ内施設間での患者・利用者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。

(記載上の注意事項)

- 「2」については、参加法人、参加病院等及び参加介護施設等の名称を記載すること。
- 「4」については、地域医療構想の達成の観点から参加病院等が実施する機能分担及び業務連携について記載すること。
- 「5」については、医療法第 70 条の 2 第 4 項に基づき、参加病院等及び参加介護施設等の相互間で業務連携を実施する場合に記載すること。

地域医療連携推進法人尾三会の医療連携推進方針に係る取り組みの状況

<p>(理念) 尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。</p> <p>(運営方針) 尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取り組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じて、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。 ② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。 ③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。
--

○ 医療連携推進業務に係る取組の状況（令和4年3月31日現在）

	事項	医療連携推進方針における記載内容	活動状況等
病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内施設の機能分化 	特定機能病院である藤田医科大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。	空病床が確認できる軽症救急モデルを導入し、初期治療を終えた救急患者を状態に合った病院へ振り分けるシステムを活用している。 尾三会参加病院の診療機能データをシステム化及び標準化し、ホームページにて公開した。これにより、退院調整の質と効率化の向上に繋がった。将来的に継続且つ横展開可能な、シームレスな医療の提供を目指して、事業を推進していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内施設間における医療・介護従事者等の人事交流を実施し、回復期機能や在宅医療を充実 	特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて人事交流を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。	人事交流について藤田医科大学病院と調整し、特に必要性の高い地域の施設に対し、医師の人事交流を2件行った。また、令和2年度より有料職業紹介事業を開始しており、看護師について1名紹介した。看護師の教育に関する教育プログラムについて、藤田医科大学病院と業務委託契約を締結した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療を充実 	藤田医科大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田医科大学地域包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの研修会や研修業務の企画立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣することで、地域全体での医療・介護サービスの質の向上に貢献します。 さらに、地域の潜在看護師が自信を持っていきいきと働くための支援として、医療安全を基盤とした看護技術習得を目指した再教育及び就労支援を実施することにより、地域医療に貢献していきます。	藤田医科大学等で開催されたセミナー（WEBを含む）や尾三会後援の研修会等の案内を全施設にした。地域フォーミュラリーWEBセミナーに9施設13名が参加した。情報共有や連携強化、またスキルアップを目的に、尾三会参加施設における薬剤師会を検討している。 参加施設より講師派遣の依頼が16件あり、藤田医科大学病院の看護師が講師としてWEB及び訪問にて講演を行った。WEBでの講演については、事業に参加した講演先施設限定で、オンデマンド配信をしている。また、同様に臨床実習の依頼があり、看護師5名、検査技師1名について、藤田医科大学病院と研修受入の調整を行った。看護連携強化のため、看護管理者会議を立ち上げた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内施設間での患者情報の共有化モデルの確立 	高度急性期医療を担う藤田医科大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的により効率的に情報システムを利用するための方法等について検討します。	インターネットを通じ診療情報を参照するシステムである「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を参加施設に促し、申し込みを取りまとめている。現在、16施設がシステムの設置・設定を済ませている。タブレット端末の貸し出しを藤田医科大学病院に協力いただき、IDリンクの利用促進を働きかけている。 ID-Linkのワーキングへ尾三会として参加し、参加施設の意見を報告している。 参加施設からの電子カルテ導入に関する相談に対し、将来的に情報共有化を目指した検討を継続して進めている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故調査等に関する業務の連携 	医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田医科大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断(Ai)等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。	医療事故に関する24時間365日対応や医療安全および院内感染に関する教育・相談、施設内医療事故調査委員会の設置運営への協力など、医療事故に対する支援体制を整えるため、参加施設は「藤田あんしんネットワーク」へ加入していただく。尾三会在窓口となり、全参加施設が入会を済ませている。あんしんネットワークの幹事会及び総会へ参加し、参加施設の意見を報告している。 参加施設より、COVID-19の対応についての指導者の派遣要請があり、藤田あんしんネットワークと連携をとり対応した。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の一括交渉を通じたグループ内施設の経営効率化 	平成29年10月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラリーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。	今年度2施設増え、12施設が事業に参加している。令和2年度下期より事業の運営について尾三会事務局が行っており、今年度よりデータの取り扱いについて約款を一部変更し運用している。	

	事項	医療連携推進方針における記載内容	活動状況等
	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じたグループ内施設の経営効率化 	<p>グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営の効率化の実現に寄与します。</p>	<p>福祉用具についてメーカーと価格交渉後特別価格の提案を全施設へ案内した。カーリース事業については、6施設21台の登録があった。また、カーリース事業契約各社からのお知らせについて参加施設へ案内した。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設における給食サービスの共同化による適切な配食と経営効率化 	<p>藤田医科大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。</p>	<p>「適時適温の食事提供システム」を導入した場合のコスト計算結果等を参考に、参加施設への提供実現可能性を引き続き検討している。</p>
介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事項	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供 	<p>既に豊明市において藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。</p>	<p>「地域包括ケア中核センター」が運営を担っている、豊明市、東郷町、藤田医科大学の三者により設置された『豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」』を参考に、尾三会の医療連携推進区域において、医療介護専門職種を支援する等の拠点づくりを検討している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らし」を支える在宅診療のシステム化 	<p>前述の藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた24時間365日オンコール体制によるバックアップ、24時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。</p>	<p>尾三会の医療連携推進区域において、「地域包括ケア中核センター」と連携し、藤田医科大学病院より人材を供給するなどのシステム構築を検討している。在宅医の当直体制の充実化を図るため、令和2年に在宅当直医師紹介機関との契約を締結している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 介護・医療従事者等の人事交流を通じた在宅診療等の充実 	<p>各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への人事交流を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。</p>	<p>参加法人の介護施設や在宅診療を担う施設に対し、介護・医療従事者の人事交流する仕組み(システム)を構築中である。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設間での患者・利用者情報の電子的な共有モデルの確立 	<p>前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。</p>	<p>前述のとおり「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を全参加施設に促し、システムの設置・設定を順次行っている。</p>

地域医療連携推進法人尾三会の医療連携推進方針に係る取り組みの状況及び補足説明

	活動状況等	補足説明
病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標	<p>空病床が確認できる軽症救急モデルを導入し、初期治療を終えた救急患者を状態に合った病院へ振り分けるシステムを活用している。</p> <p>尾三会参加病院の診療機能データをシステム化及び標準化し、ホームページにて公開した。これにより、退院調整の質と効率化の向上に繋げた。将来的に継続且つ横展開可能な、シームレスな医療の提供を目指して、事業を推進していく。</p>	<p>救急患者振り分けシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南生協病院 ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院
	<p>人事交流について藤田医科大学病院と調整し、特に必要性の高い地域の施設に対し、医師の人事交流を2件行った。また、令和2年度より有料職業紹介事業を開始しており、看護師について1名紹介した。看護師の教育に関する教育プログラムについて、藤田医科大学病院と業務委託契約を締結した。</p>	<p>医師派遣施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊田地域医療センター ・日進おりど病院 <p>看護師紹介施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並木病院
	<p>藤田医科大学等で開催されたセミナー(WEBを含む)や尾三会後援の研修会等の案内を全施設にした。地域フォーミュラーWEBセミナーに9施設13名が参加した。情報共有や連携強化、またスキルアップを目的に、尾三会参加施設における薬剤師会を検討している。</p> <p>参加施設より講師派遣の依頼が16件あり、藤田医科大学病院の看護師が講師としてWEB及び訪問にて講演を行った。WEBでの講演については、事業に参加した講演先施設限定で、オンデマンド配信をしている。また、同様に臨床実習の依頼があり、看護師5名、検査技師1名について、藤田医科大学病院と研修受入の調整を行った。看護連携強化のため、看護管理者会議を立ち上げた。</p>	<p>フォーミュラーWEBセミナー参加施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南生協病院 ・相生山病院 ・並木病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院 ・日進おりど病院 ・藤田医科大学病院 ・善常会リハビリテーション病院 ・寿光会中央病院 <p>講師依頼施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・並木病院 ・辻村外科病院 ・三嶋内科病院 ・平岩病院 ・日進おりど病院 <p>臨床実習依頼施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並木病院 ・辻村外科病院 ・富田病院
	<p>インターネットを通じ診療情報を参照するシステムである「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を参加施設に促し、申し込みを取りまとめている。現在、16施設がシステムの設置・設定を済ませている。タブレット端末の貸し出しを藤田医科大学病院に協力いただき、IDリンクの利用促進を働きかけている。</p> <p>ID-Linkのワーキングへ尾三会として参加し、参加施設の意見を報告している。</p> <p>参加施設からの電子カルテ導入に関する相談に対し、将来的に情報共有化を目指した検討を継続して進めている。</p>	<p>ID-Link設定済施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャパン藤脳クリニック ・みどり訪問クリニック ・並木病院 ・富田病院 ・葵セントラル病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院 ・一里山・今井病院 ・山尾病院 ・総合青山病院 ・宇野病院 ・秋田病院 ・相生山病院 ・日進おりど病院 ・三島内科病院 ・前原整形外科リハビリテーションクリニック <p>電子カルテに関する訪問施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
	<p>医療事故に関する24時間365日対応や医療安全および院内感染に関する教育・相談、施設内医療事故調査委員会の設置運営への協力など、医療事故に対する支援体制を整えるため、参加施設は「藤田あんしんネットワーク」へ加入していただく。尾三会が窓口となり、全参加施設が入会を済ませている。あんしんネットワークの幹事会及び総会へ参加し、参加施設の意見を報告している。</p> <p>参加施設より、COVID-19の対応についての指導者の派遣要請があり、藤田あんしんネットワークと連携をとり対応した。</p>	<p>医師・看護師派遣施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並木病院
	<p>今年度は2施設増え、12施設が事業に参加した。令和2年度下期より事業の運営について尾三会事務局が行っており、今年度よりデータの取り扱いについて約款を一部変更し運用している。</p>	<p>医薬品事業参加施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・ジャパン藤脳クリニック ・三島内科病院 ・葵セントラル病院 ・豊田地域医療センター ・前原整形外科リハビリテーションクリニック ・平岩病院 ・高須病院 ・山尾病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院
	<p>福祉用具についてメーカーと価格交渉を特別価格の提案を全施設へ案内した。</p> <p>カーリース事業については、6施設21台の登録があった。また、カーリース事業契約各社のお知らせについて参加施設へ案内した。</p>	<p>カーリース契約施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合青山病院 ・前原整形外科リハビリテーションクリニック ・高須病院 ・和合の里 ・地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ ・葵セントラル病院
	<p>「適時適温の食事提供システム」を導入した場合のコスト計算結果等を参考に、参加施設への提供実現可能性を引き続き検討している。</p>	
介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項	<p>「地域包括ケア中核センター」が運営を担っている、豊明市、東郷町、藤田医科大学の三者により設置された『豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」』を参考に、尾三会の医療連携推進区域において、医療介護専門職種を支援する等の拠点づくりを検討している。</p>	
	<p>尾三会の医療連携推進区域において、「地域包括ケア中核センター」と連携し、藤田医科大学病院より人材を供給するなどのシステム構築を検討している。在宅医の当直体制の充実化を図るため、令和2年に在宅当直医師紹介機関との契約を締結している。</p>	<p>事業参加施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり訪問クリニック ・半田中央病院
	<p>参加法人の介護施設や在宅診療を担う施設に対し、介護・医療従事者の人事交流する仕組み(システム)を構築中である。</p>	
	<p>前述のとおり「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を全参加施設に促し、システムの設置・設定を順次行っている。</p>	

令和3年度 研修会一覧

日程	セミナー名	テーマ
2021年4月19日（月）	第13回かけはし一歩塾	～stand by活動～ひきこもり支援とは！？
2021年5月11日（火）	第14回かけはし一歩塾	アセスメント力をあげるには！！
2021年5月21日（金）	第1回NST勉強会	栄養管理におけるプロバイオティクスの介入
2021年6月2日（水）	第15回かけはし一歩塾	精神科医療機関との連携の進め方
2021年7月8日（木）	第1回これでわかる！脳・神経系疾患	脳梗塞急性期治療とそれを支えるチーム医療の大切さについて
2021年7月31日（土）	第1回多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	業務継続計画（BCP）について ～今から取り組むために知っておくべきBCPの基本～
2021年9月2日（木）	第2回これでわかる！脳・神経系疾患	「脳のがんとは何か」 「頭部外傷セミナー」
2021年9月8日（水）	第2回NST勉強会	栄養素が消化管・膵ホルモン分泌を介して体重や糖代謝に与える影響
2021年9月11日（土）	多職種同職種会合同研修会	グループワーク「それぞれの職種に 望むこと」
2021年9月18日(土) ～10月3日(日)	市民公開講座	脳神経外科医が診る 「頭痛」
2021年11月8日（月）	尾三会薬剤師連携セミナー	地域フォーミュラリーの必要性について
2021年11月10日（水）	第3回NST勉強会	体はどのように栄養素を利用するのか？ －なぜうまく利用できない場合が生じるのか？－ ・CKD対策に期待される腎臓病療養指導士の役割 ・これからのCDK対策の方向性について
2021年12月16日（木）	参腎会学術講演会	
2021年12月16日（木）	第3回これでわかる！脳・神経系疾患	『瘻瘻してる、どうしよう？』
2022年1月20日（木）	第4回これでわかる！脳・神経系疾患	『脳動脈瘤の最新治療』 『脳梗塞は治せる病気？血栓回収術の一問一答』
2022年1月29日（土）	第2回多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	「保証人問題の実際」 実践的な課題の本質を理解し、解決のヒントを学ぼう
2022年2月5日（土）	がん看護スキルアップセミナー	社会の動向とがん医療 ～これからのACPを考える～
2022年3月9日（水）	第4回NST勉強会	心血管疾患の栄養療法 －心不全急性期の栄養療法を中心に－
2022年3月10日（木）	第5回これでわかる！脳・神経系疾患	『てんかんと外科治療』
2022年3月19日（土）	がん看護スキルアップセミナー	社会の動向とがん医療 ～これからのACPを考える～